

2018年度 助成一覧

1. 研究助成

		採択(申請)	助成金額
新規	自然科学	16件(31件)	2,140万円
	人文・社会科学	11件(14件)	1,465万円
	小計	27件(45件)	3,605万円
継続	自然科学	15件(15件)	1,620万円
	人文・社会科学	3件(3件)	355万円
	小計	18件(18件)	1,975万円
採択合計		45件(63件)	5,580万円

2. 研究者交流援助

		採択(申請)	援助金額
派遣	長期	4件(6件)	1,172万円
	短期	2件(2件)	380万円
招へい	長期	1件(2件)	134万円
	短期	0件(1件)	0万円
採択合計		7件(11件)	1,686万円

3. 国際学術交流援助

	援助件数	援助金額
国際研究集会援助	16件	800万円

2018年度助成総額 ( 1 + 2 + 3 ) 68件 8,066万円

1. 研究助成 採択者及び助成金一覧

(1) 新規

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
1	日本都市計画学会	ウスイ ヒロユキ 薄井宏行	東京大学大学院 工学系研究科 助 教 (都市工学)	現行のゾーニング制における街路景観の調和度の改善ー敷地の規模・形状の多様性及び個々の建物形態の自由度(形態の外部不経済)と街路景観の調和度のトレード・オフに着目してー	75
2	日本都市計画学会	ムラヤマアキト 村山顕人	東京大学大学院 工学系研究科 准 教 授 (都市計画)	レスポンシブル・ツーリズムを軸とする持続的地域開発のモデル構築ーカンボジア・ブレイビア州における実践的問題解決型研究ー	125
3	日本建築学会	ナカジマシロウ 中島史郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部 教 授 (木質構造)	開口補強を行った枠組壁工法による有開口耐力壁の耐力評価	185
4	日本建築学会	イケダ ヨシキ 池田芳樹	京 都 大 学 防 災 研 究 所 教 授 (建築構造)	鉄骨造建物の耐震性評価を向上させる振動計測記録の有効利用に関する研究	65
5	日本建築学会	ナカダ ヨウソウ 中田幸造	琉 球 大 学 工 学 部 准 教 授 (建築構造学)	増打ちした短い無筋の袖壁を鋼板と緊張PC鋼棒の能動横拘束により既存RC柱に一体化する強度靱性型耐震補強法の開発	150
6	日本建築学会	ハナザトシカス 花里利一	三重大学大学院 工 学 研 究 科 教 授 (地震工学)	木構造と組積構造の接合性能に着目した歴史的木骨組積造建造物の耐震安全性	155
7	日本建築学会	サウ ノブタケ 佐藤布武	名 城 大 学 理 工 学 部 助 教 (建築計画)	伝統的な植物資源の活用方法の評価と再編による散居景観の継承	120
8	日本建築学会	タトリ チカ 高取千佳	名古屋大学大学院 環 境 学 研 究 科 助 教 (都市計画)	管理・利用・環境機能の総合評価に基づく都市周縁部の緑地計画の提案	165
9	日本建築学会	クロイシ 黒石いずみ	青山学院大学 総合文化政策学部 教 授 (建築史)	戦後日本の最小限住宅をめぐる建築デザインの国際的文化創造：冷戦期アメリカにおける日本の建築的生活美学の再解釈と日本の住宅デザイン運動の相互作用	125
10	日本建築学会	ヒラヤマイクオ 平山育男	長岡造形大学 造 形 学 部 教 授 (建築歴史)	J. コンドルが残したスケッチ・ブックの研究	125

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
11	土木学会	タニグチ ノブム 谷口 望	前橋工科大学 工学部 准教授 (構造工学)	i-construction適応に向けた橋梁における限界状態設計の高精度化に関する研究	115
12	土木学会	シリングリンゴ・ディオニシウス・マンリー	横浜国立大学 先端科学高等研究院 特任教員(准教授) (構造工学)	耐震補強が必要な都市内高速高架橋上の照明柱の抽出法とそのための画像による振動計測法に関する研究	165
13	土木学会	ミヤタ タケン 宮下 剛	長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 准教授 (鋼構造)	炭素繊維シートを用いた鋼構造物の補修	125
14	土木学会	ハヤシカズユキ 林 和幸	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授 (地盤工学)	地中炭酸カルシウム沈殿による地下水浄化・金属資源回収システムの開発	200
15	日本海洋学会	ヨシムラ タケン 芳村 毅	北海道大学大学院 水産科学研究所 准教授 (海洋化学)	北海道サロマ湖での持続可能なホタテガイ養殖を実現するためのエサ環境の定量的評価	120
16	日本火災学会	クワナカズノリ 桑名一徳	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 (火災安全科学)	大規模林野火災における延焼速度予測モデルの確立	125
17	東北大学 東北アジア 研究センター	ヒラノ ナオト 平野直人	東北大学 東北アジア研究センター 准教授 (地質学)	根室・歯舞群島における異質な火成活動・地形・気候・文化・農産物システム	155
18	早稲田大学 文学学術院	タバタ ユキツグ 田畑幸嗣	早稲田大学 文学学術院 准教授 (東南アジア考古学)	前近代日本＝カンボジア間交流史の構築：出土陶磁器と日本＝カンボジア往復書簡に基づく歴史・考古学研究	155
19	早稲田大学 大学院 創造理工学 研究科	ヨイワ マサキ 小岩正樹	早稲田大学大学院 創造理工学研究科 准教授 (建築学)	サンボー・プレイ・クック遺跡群にみる古代クメール都城の構造と変容	140
20	筑波大学 人文社会系	タニグチヨウコ 谷口陽子	筑波大学 人文社会系 准教授 (保存科学)	世界遺産 Cappadocia・聖シメオン教会の保全に関する科学的研究	135

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額 (万円)
21	東京大学 史料編纂所	ヤマグチヒデオ 山口英男	東京大学 史料編纂所 教授 (古代日本史)	平安時代儀式史料の統合解析と学術資源化	120
22	東京大学 史料編纂所	マツカタフユコ 松方冬子	東京大学 史料編纂所 准教授 (日本近世史)	長崎口の形成－15～19世紀の長崎から見た日本列島の国民国家形成と対外関係－	210
23	東京大学 史料編纂所	ハコイシ ヒロシ 箱石 大	東京大学 史料編纂所 准教授 (日本史学)	明治太政官の官員旧蔵文書群に含まれる政府関係文書の史料学的研究	95
24	慶應義塾 大学 商学部	アライ カズヒロ 新井和広	慶應義塾大学 商学部 教授 (歴史学)	地形図から読み解く歴史：エジプトとハドラマウト(イエメン)の比較研究	80
25	九州大学 大学院 人間環境学 研究院	クロセ タケフミ 黒瀬武史	九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授 (都市計画学)	人口減少都市の空き地管理における土地利用政策と住民活動の連携手法に関する研究	145
26	学習院 大学	シロタ ユカリ 白田由香利	学習院大学 経済学部 教授 (経営科学)	インドネシア女性就業持続性向上のための退職原因調査	120
27	名古屋大学 大学院 法学研究科	ハヤシ シュウヤ 林 秀弥	名古屋大学大学院 法学研究科 教授 (経済法)	公共調達制度の国際比較－競争性の確保と社会的価値の追求－	110
研究助成（新規） 計 27 件					<b>3,605</b>

## (2) 継 続

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
1	日本都市計画学会	ニシウラサダツグ 西浦定継	明星大学 理工学部 教授 (都市・地域計画)	経済のグローバル化のもとでのタイ国・バンコク大都市圏の都市空間構造の変貌と環境に配慮した質の高いインフラ整備戦略に関する研究	100
2	日本都市計画学会	ナカムラフミヒコ 中村文彦	横浜国立大学 理事・副学長 (都市交通計画)	日米の公共交通指向型開発先進的事例地域におけるその長期的効果の比較	140
3	日本建築学会	キムラ ヨシヒロ 木村祥裕	東北大学 未来科学技術 共同研究センター 教授 (耐震構造)	過去の巨大地震による大空間構造屋根構造の被害に立脚した非構造部材の応力伝達機構の解明と耐震設計法の確立	165
4	日本建築学会	カツマタヒデアキ 勝又英明	東京都市大学 工学部 教授 (建築計画)	歴史的建造物の維持保全の持続可能性に関する研究—寺院本堂と伝統的建造物群保存地区等の指定建物を対象として—	105
5	日本建築学会	マツバラシゲキ 松原茂樹	大阪大学大学院 工学研究科 准教授 (建築計画)	社会的養護・障害者分野の社会福祉施設の建築計画に関する史的的研究	95
6	日本建築学会	イエン シュワン 厳 爽	宮城学院女子大学 生活科学部 教授 (建築計画)	精神科児童思春期病棟の空間モデルおよび環境評価マニュアルの作成に関する実践的研究	90
7	農業農村工学会	キムラ マサオミ 木村匡臣	東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教 (農業水利学)	中山間地域におけるため池の多面的評価指標の構築	100
8	日本海洋学会	シマダ ヨウイチ 嶋田陽一	水産大学校 海洋生産管理学科 助教 (海洋学)	風圧流が強い海洋ゴミの衛星追跡観測：北米西海岸到着の可能性	85
9	日本火災学会	サノトモリ 佐野友紀	早稲田大学大学院 人間科学学術院 教授 (建築防災)	大規模地下空間における歩行困難者の一時避難待機場所を考慮した新しい誘導灯の設置ガイドラインの検討	120
10	空気調和・衛生工学会	カギ ナオキ 鍵 直樹	東京工業大学 環境・社会理工学 院 准教授 (建築環境工学)	建築物室内における空気調和機からの汚染物質の発生機構	120

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額 (万円)
11	地盤工学会	カオカサンキ 片岡沙都紀	神戸大学大学院 工学研究科 助教 (地盤工学)	低品質土の改良効果に着目した製鋼スラグの道路盛土材としての安定性評価に関する研究	80
12	地盤工学会	ツイ 仁瑛	横浜国立大学大学院 都市イノベーション 研究 院 准 教 授 (耐震工学)	細粒分流失に起因する河川構造物周辺地盤の劣化機構の解明と堤防安定性への影響の評価	120
13	土木学会	アオキ トシアキ 青木俊明	東北大学大学院 国際文化研究科 准 教 授 (都市・地域計画)	公共開発における普遍的紛争構造の解明と紛争の回避・解決策：ステークホルダー間の価値観相違の有無を超えて	90
14	土木学会	オオモトテルヲ 大本照憲	熊本大学大学院 先端科学部 環境科学部門 教 授 (水工水理学)	開口部を有する河川横断構造物が河床変動、乱流構造および生態系に与える影響に関する研究	80
15	土木学会	キシダ キヨシ 岸田 潔	京都大学大学院 工学研究科 教 授 (岩盤工学)	熱-流体-力学-化学連成による不連続性岩盤のマルチフィジックスシミュレータの構築	130
16	東北大学大学院 国際文化研究科	シメ リン 柴 琳	東北大学大学院 国際文化研究科 准 教 授 (アジア政治思想史)	近代日本の中国学に関する総合的研究 — 知の編成・連鎖・再生産	110
17	東京大学 史料編纂所	ハンセ アケミ 伴瀬明美	東京大学 史料編纂所 准 教 授 (日本史)	東アジア諸王室における「后位」儀礼比較史の発展的研究	125
18	筑波大学 システム情報系	アリタ トモカズ 有田智一	筑波大学 システム情報系 教 授 (都市計画)	公共貢献型都市開発の課題と今後の展開可能性—日本・アメリカ・イギリスの比較研究	120
研究助成（継続）				計 18 件	<b>1,975</b>

研究助成	合計 45 件	<b>5,580</b>
------	---------	--------------

## 2. 研究者交流援助採択者及び援助金額一覧

### 研究者海外派遣援助

No.	推薦 組織・機関	氏名 所属機関・職名	研究課題	派遣先	派遣期間	援助金額 (万円)
1	東京大学 地震研究所	オハラカズシ 小原一成  東京大学 地震研究所 教授	Cascadiaと南海トラフにおけるスロー地震と巨大地震との関連性に関する研究	アメリカ (ワシントン 大学)	2019.10.13 ～ 2020.01.10 (90日)  (短期)	180
2	東京大学大学院 工学系研究科	ウラタ ジュンジ 浦田淳司  東京大学大学院 工学系研究科 助教	次世代交通の動学的マネジメントにむけた求解アルゴリズムの開発と適用	アメリカ (ミシガン 大学)	2019.08.01 ～ 2020.7.31 (366日)  (長期)	386
3	九州大学大学院 工学研究院	シムヤスヒロ 吉村康広  九州大学大学院 工学研究院 助教	宇宙物体のライトカーブに対する新たな定式化と状態推定手法	アメリカ (ニューヨーク 州立大学)	2019.08.08 ～ 2020.08.07 (366日)  (長期)	386
4	神戸大学大学院 法学研究科	イサケンゴ 板持研吾  神戸大学大学院 法学研究科 准教授	英国における住宅コミュニティと法律問題	イギリス (ケンブリッジ 大学)	2019.07.25 ～ 2020.01.15 (175日)  (長期)	200
5	大阪大学大学院 言語文化研究科	リン チュウメイ 林 初梅  大阪大学大学院 言語文化研究科 准教授	歴史記憶としての「日本」－植民地時代を描く台湾の歴史小説のドラマ化ブームに関する社会学的研究	台湾 (国立政治 大学、 国立台北教育 大学)	2019.04.04 ～ 2019.09.30 (180日)  (長期)	200
6	九州大学大学院 人間環境学 研究院	サキ 堀 賀貴  九州大学大学院 人間環境学研究院 教授	古代ローマ都市オスティア全域の三次元デジタル化の完成	イタリア (オスティア 遺跡公園・ ローマ遺跡監督 局) アメリカ (ヴァージニア 工科大学)	2019.05.25 ～ 2019.8.23 (91日)  (短期)	200
派遣 計 6件						1,552

外国人研究者招へい援助

No.	申請者		研究課題	招へい研究者	期間	援助 予定額 (万円)
	推薦 組織・機関	氏名 所属機関・職名		氏名(国籍) 所属機関・職名		
1	東京工業大学 科学技術創成 研究院	オオノトシヒコ 大貫敏彦  東京工業大学 科学技術創成 研究院 教授	磁化ゼオライトを用いた放 射性汚染水の除染	Azusa Ito (日本) バーミンガム 大学 博士課程	2019.04.01 ～ 2020.09.30 (182日)  (長期)	134
招へい 計 1 件						<b>134</b>

研究者交流援助 合計 7件	<b>1,686</b>
---------------	--------------

### 3. 国際学術交流援助採択者及び援助金額一覧

#### 国際研究集会援助

No.	会 議 名	期 間	開催地	申 請 者 (組織委員会委員長等)	援助 金額 (万円)
1	第12回複合型高度ソフトウェア集約システムに関する国際会議	18. 7. 4 ～ 7. 6	松江市	福岡工業大学情報工学部 准教授 池田 誠	50
2	アジア太平洋管理会計研究シンポジウム	18. 7. 8 ～ 7. 9	神戸市 (神戸大)	神戸大学大学院経営学研究科 教授 梶原 武久	50
3	第7回国際マメ科会議	18. 8. 29 ～ 9. 2	仙台市	琉球大学熱帯生物圏研究センター 教授 梶田 忠	50
4	第10回電力・エネルギーシステム制御シンポジウム	18. 9. 4 ～ 9. 6	東京 (明治大)	明治大学総合数理学部 教授 森 啓之	50
5	第一回圧入工学に関する国際会議2018	18. 9. 19 ～ 9. 20	高知市 (高知工科大)	国際圧入学会 会長 日下部 治	50
6	第10回ACES国際ワークショップ	18. 9. 25 ～ 9. 28	兵庫県 南あわじ市	防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門長 福山 英一	50
7	第16回メガハウス国際会議	18. 9. 25 ～ 9. 29	千葉県 柏市	東京大学物性研究所 教授 嶽山 正二郎	50
8	第8回流体力学に関する国際会議	18. 9. 25 ～ 9. 28	仙台市 (東北大)	東北大学大学院工学研究科 教授 田中 仁	50
9	第51回国際漢蔵語学会	18. 9. 25 ～ 9. 28	京都市 (京都大)	京都大学白眉センター 特定准教授 藤原 敬介	50
10	国際フォーラム「日本の高等教育のグローバル化」	18. 10. 13	東京	昭和女子大学人間社会学部 准教授 シム チュンキャット	50
11	ユニバーサル音コミュニケーション2018 国際シンポジウム	18. 10. 22 ～ 10. 24	仙台市 (東北大)	東北大学電気通信研究所 教授 鈴木 陽一	50
12	第4回保全科学と保全技術に関する国際会議	18. 10. 23 ～ 10. 26	仙台市 (東北大)	東北大学流体科学研究所 教授 高木 敏行	50
13	第8回和周波発生分光シンポジウム	18. 10. 26 ～ 10. 27	さいたま市	埼玉大学大学院理工学研究科 教授 山口 祥一	50

14	第3回東アジア日本研究者協議会 国際学術大会	18. 10. 26 ～ 10. 28	京都市	国際日本文化研究センター 教授 松田 利彦	50
15	日韓中国現代文学研究者対話会	18. 12. 21 ～ 12. 24	東京 (東京大)	東京大学教養学部 教授 伊藤 徳也	50
16	アジア政治分析方法論年次大会	19. 1. 5 ～ 1. 6	京都市 (同志社大)	学習院大学法学部 教授 福元 健太郎	50
(予算 50万円×16件=800万円) 国際研究集会 合計 16件					800